

# メコン経済圏への 躍動を探る

このところ、インドシナ半島がチャイナ・プラス・ワンの選択肢の一つとして注目を浴びている。多数の日系企業がこれら諸国において積極的な国際的事業展開に挑んでいる。この地域では、電力やインフラ整備、裾野産業の未成熟等々の問題が指摘されるが、それにもまして中間層の台頭、親日的であること、豊富な労働力・優秀な若者の存在などを背景に、企業集積が次第に見られるようになった。本講座では、躍動するインドシナ半島諸国の現状を多方面から分析し、メコン経済圏への胎動を明らかにしたい。

**場所** 大阪商業大学 GATEWAY4 階 ネットワークレクチャールーム

**時間** 19:00~20:30 ※質疑応答20分含(受付18:30~)

**受講料** 1回 1,000円(税込) / 全4回 3,000円(税込) **申込方法** 裏面参照

11月14日(木)

## 最近のベトナム経済動向と 日本との経済交流

カオ イン ジュン (Cao Anh Dung)  
在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 領事



近年、ベトナムの経済発展は世界により注目されています。日本を始め、海外企業の進出関心が高まっています。また、日本との関係については、経済交流を中心として 2009年から戦略的なパートナーシップになり、交流分野が幅広く展開し、2013年にはベトナムと日本の国交樹立40周年記念を迎えています。

この講座では、最近のベトナム経済がどのように発展していったのか。その実績と課題は何であろうか。また、日本との経済交流実績、そのポテンシャルを紹介します。

11月21日(木)

## タイ経済のなかでの 日本企業

関 智宏 (せき ともひろ)  
阪南大学 経営情報学部 准教授



2015年の AEC (ASEAN Economic Community) ならびに大メコン圏 (GMS) 開発など、ASEAN 諸国が注目されている。ASEAN 諸国の中では、とくにタイが、近年日本企業、とくに中小企業の国際展開先として脚光を浴びている。タイでは、すでに約6,000~7,000の日系企業が進出していると言われるが、今後さらなる進出が期待されている。本講座では、ASEAN のなかで重要な位置を占めるタイ経済と、そのなかでの日系企業(とくに中小企業)の現状と展望について概説する。

11月28日(木)

## 中堅中小企業の東南アジア 進出の実態と展望

安積 敏政 (あさか としまさ)  
甲南大学 経営学部 教授



2012年初めから1年半かけてアジア20か国を訪問、日本の中堅中小企業のアジア進出の実態を現地法人へのインタビューをベースに調査した。その中から東南アジアに焦点をあて、ミャンマー、カンボジア、ラオス、ベトナムに進出した10社を具体的事例として取り上げ、その実態と課題を探ってみる。少子高齢化・人口減少の日本からダイナミックに変化するアジアのビジネスチャンスを狙って進出する製造業とサービス業の将来を展望してみる。

12月5日(木)

## 過渡期におけるラオス経済: 改革、投資、および変化

ヴィサテップ スクサバン (Vixathep Souksavanh)  
神戸大学大学院国際協力研究科助教



ラオス経済は農業に依存している。農業部門は人口の大半に対する雇用及び収入の主な源泉である。工業部門は、水力発電と鉱業分野の急速な成長のおかげで安定的に成長している。FDI (海外直接投資) は、ベトナムを先頭に、タイ・中国等、増加傾向を示している。ラオスは、社会経済の発展を達成している。ここ10年の間は高度経済成長を経験した。国内外の需要と投資により、貧困率は著しく減少し、農業生産は生活農業から商業生産へと変化している。

## 講師プロフィール

**Cao Anh Dung**  
**カオ インジュン** 氏  
 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 領事

1968年生まれ。ハノイ貿易大学経済学学士号取得ののち、早稲田大学日本語教育研究センター日本語研修生を経て、神戸大学大学院国際協力研究科の博士課程前期課程・後期課程に留学し、2006年に経済学博士号を取得。2009年から在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館の領事として、領事サービス・在住ベトナム人保護部門、文化・教育・スポーツ・科学技術部門の担当、経済部門の常任メンバーを務めています。

**せき ともひろ**  
**関 智宏** 氏  
 阪南大学 経営情報学部 准教授

2006年3月神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程終了後、現在阪南大学経営情報学部准教授、博士(経営学)。この間、インペリアルカレッジ ロンドン ビジネススクール、チュロンコン大学サシン経営管理大学院ジャパンセンター訪問研究員。日本中小企業学会などの会員。専攻は中小企業論・中小企業経営論。近著に『現代中小企業の発展プロセス』(2011年、ミネルヴァ書房)『中小企業研究奨励賞準賞』、『タイビジネスと日本企業』(2012年、同友館)など。

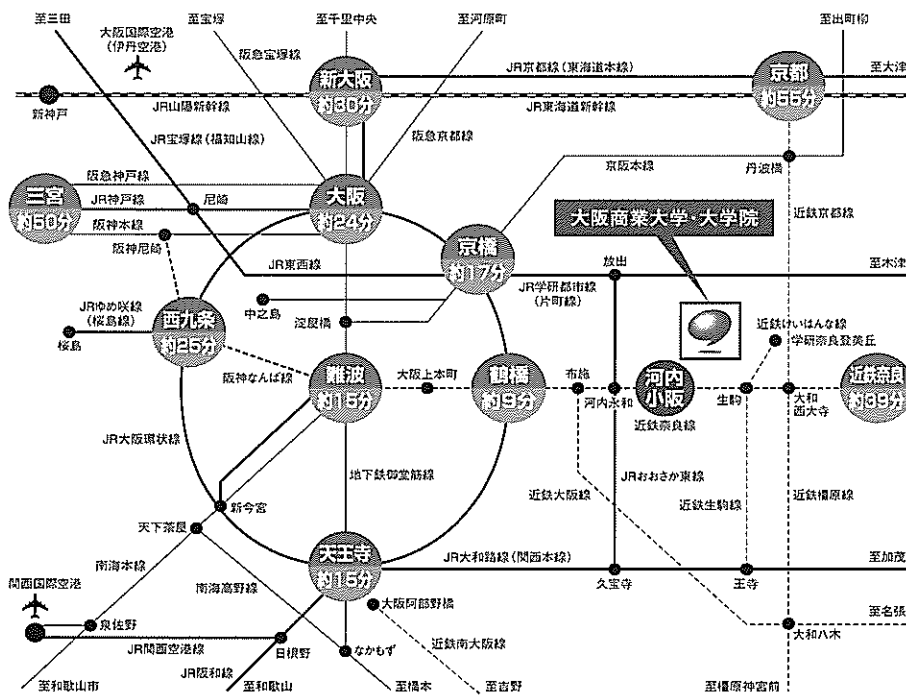
**あさか としまさ**  
**安積 敏政** 氏  
 甲南大学 経営学部 教授

1971年東北大学経済学部卒、同年松下電器産業(現パナソニック)入社。松下電子工業取締役経営企画室長、松下電器本社経営企画室グローバル企画グループ・リーダー、アジア大洋州本部企画部長、同地域統括会社アジア松下電器副社長、本社グローバル戦略研究所首席研究員などを経て2007年から現職。著書に『激動するアジア経営戦略〜中国・インド・ASEANから中東・アフリカまで〜』(日刊工業新聞社刊、2009年11月)など。

**Vixathep Souksavanh**  
**ヴィサテップ スクサバン** 氏  
 神戸大学大学院 国際協力研究科 助教

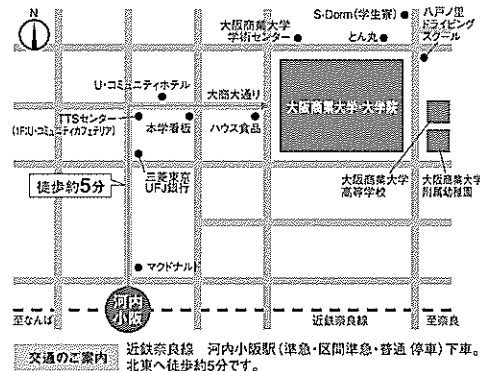
1997年5月ドイツのイルメナオ工科大学修士課程修了後、国際大学大学院国際関係学研究科修士課程を経て、神戸大学大学院国際協力研究科博士課程修了。博士(経済学)。現在、神戸大学大学院国際協力研究科博士課程助教。この間、アジア開発銀行などに勤務。東南アジアや南アジアなどの発展途上国の産業について研究。論文は、「ベトナム縫製企業の技術効率性」、日本経済政策学会『経済政策ジャーナル』2012年1月(松永宣明と共著)など多数。

### ◆ 主要駅からのルート



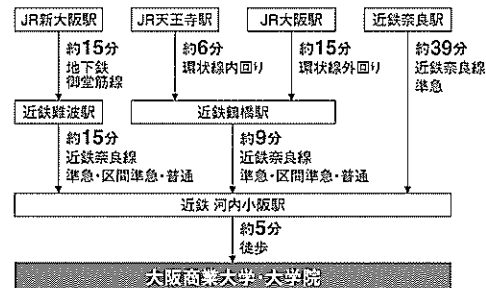
※駅名下に記載されている数字は、河内小阪駅からのおよその所要時間です。  
 ※乗り換え時間などは含まれません。

### ◆ 近隣地区



交通のご案内 近鉄奈良線 河内小阪駅(準急・区間準急・普通 停車)下車。北東へ徒歩約5分です。

### ◆ 所要時間



**申込方法**: 下記事務局まで FAX (申込書使用)・電話・e-mail (申込書の内容を明記) にてお申し込みください。  
 申込書を郵送、または直接ご持参いただいても結構です(谷岡記念館 2 階)。

## 市民ビジネス講座 申込書

大阪商業大学学術研究事務局 〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

**FAX 06-6785-6237**

TEL 06-6785-6139 (日・祝除く9時~17時)

e-mail: hiken@oucow.daishodai.ac.jp

申込講座日		<input type="checkbox"/> 11月14日		<input type="checkbox"/> 11月21日		<input type="checkbox"/> 11月28日		<input type="checkbox"/> 12月5日		<input type="checkbox"/> 全講座	
申込者名		年		代		性		別		男・女	
ご住所		〒									
ご連絡先		TEL				E-mail					
		FAX									
今後の講座等のご案内について		<input type="checkbox"/> DMの送付を希望する		<input type="checkbox"/> DMの送付を希望しない							

※ご記入いただきました個人情報につきましては、ご本人の同意がない限り、本学主催事業のご案内以外の目的に使用することはありません。